

主張

安保闘争は始まった

倉石発言というのが問題になった。同じと、侵略戦争の負担にあらがい、アメリカの苦境を救うこと、経済的にやがて事実的。そのための権力機構の整備強化。人民の諸権利の剥奪と、労働運動、反戦運動等の復興期をのりこえた経営本にこつた。それが佐藤の発言では、「とうとうこうともなかつた」などといったところである。用意が足りなかつた。福田が、ただ不用意だった。そして最終目標は日本軍国主義の化しつつあった。片山内閣後歴完全復活これが佐藤を頭とする政府自民党の予定コースである。主流派はこのコースを急に公然と進もうとして、反主流派は漸進的である。用意が足りなかつた。つまりアメリカ。そして今ながりつづつある。アメリカ帝国の要求にこだまうとしている。

昨秋佐藤首相は羽田から度海外へ飛び立った。焦忘は南ベトナムにならずして歩こうとするだけではない。激しい抗議をして、そのうち総務省の人がいて、ともに総資本迫りくる世界的危機を生きのびるためには、この方針をより急速に進もうとしている。これが佐藤内閣のことをもとに、最近、全国各地の軍

平和憲法の採択による軍備放棄くなっている。これが佐藤内閣の党の発言なのだから決して改められない。

日本アキスト連盟機関紙 LIBERA FEDERACION Organo de Anarkista Federacion Japana 発行所 自由連合編集局 東京都新宿北山伏町33(大沢方) 振替東京144722 1部30円(税込)・1年360円

自由連合

一日未のテト休戦破綻はどうまい、南ベトナム全土にわたる戦局の一変、そして三週間をあげてふたたび行われたNLFの第一波攻撃は、ベトナム戦争の状況が、何にもまして現代史的意味を、われにほつきと確認されることになった。

第一に、アメリカの勝利は、絶望的である。もはや名譽ある休戦もおぼつかない。「ベトコンは取りかえのつかぬ大損害をうけ、逆にサイゴン政府の立場が強化され」という評価は、ホワイトハウス以外に誰も信用しない。昨日まで誇っていた「平定計画」は一体どこへいったか。

第二に、NLFの軍事攻勢の結果とくにアメリカとサイゴン政府軍による徹底的破壊をいたわぬ反撃は、数万人の住民が死傷し、数千人の難民、数百万の難民者、そして全土をおおう経済危機は、南ベトナム人民の窮屈に抱きをかけることになった。そしてこれからもなおそれはつき、増大するばかりだ。

第三に、NLFの軍事力はなお充分に余力をもて、米軍の政勢をほねかねずとしても、まだ真正面で

一日未のテト休戦破綻はどうまい、南ベトナム全土にわたる戦局の一変、そして三週間をあげてふたたび行われたNLFの第一波攻撃は、ベトナム戦争の状況が、何にもまして現代史的意味を、われにほつきと確認されることになった。

第一に、アメリカの勝利は、絶望的である。もはや名譽ある休戦もおぼつかない。「ベトコンは取りかえのつかぬ大損害をうけ、逆にサイゴン政府の立場が強化され」という評価は、ホワイトハウス以外に誰も信用しない。昨日まで誇っていた「平定計画」は一体どこへいったか。

第一に、NLFの軍事攻勢の結果とくにアメリカとサイゴン政府軍による徹底的破壊をいたわぬ反撃は、数万人の住民が死傷し、数千人の難民、数百万の難民者、そして全土をおおう経済危機は、南ベトナム人民の窮屈に抱きをかけることになった。そしてこれからもなおそれはつき、増大するばかりだ。

第三に、NLFの軍事力はなお充分に余力をもて、米軍の政勢をほねかねずとしても、まだ真正面で

ベトナム反戦を武器に!

70年安保を武器に!

④ 小剣・戦術核兵器の使用。当初は威嚇のため、うわさを流す。には、その使用がひそかに決定され、実行をまちかまえる。

このようす進展のなかで、米ソの援助兵器の本格的対決がますます遠征軍の大量増加をほんと不可能にしている。一方で、ついにNLFと北ベトナムは、当然、世界各国から義勇軍を派遣する事態となつてゐる。どうぞ、世界の革命家諸君へあたる。

⑤ 小剣・戦術核兵器の使用。当初は威嚇のため、うわさを流す。には、その使用がひそかに決定され、実行をまちかまえる。

このようす進展のなかで、米ソの援助兵器の本格的対決がます

生れ、ついにNLFと北ベトナムは、当然、世界各国から義勇軍を派遣する事態となつてゐる。どうぞ、世界の革命家諸君へあたる。

このようす進展のなかで、米ソの援助兵器の本格的対決がます

人民は将棋の駒か

世界共産党協議会から

去る一月、佐世保闘争の衝撃がまだ納まらぬうちに、アメリカの情報収集艦ブエブロ号が、北朝鮮海軍の手でだ捕され、元山へ連行されるという事件が突発した。佐世保を出港した原子力空母エンターブレイズは、反転して北上し日本海洋上に現われ、一触即発の危機が持ち上つた。このことは、すでにだれもが知つていておりである。

ブエブロ事件の真相

北朝鮮政府の公式発表によれば、ブエブロ号は北朝鮮の領海をくぐり込んだので、これを捕り、法

侵入したので、これを捕り、法の定めによつて、乗組員を処罰する、ということになつてゐる。

一方、アメリカ政府は、その事實を否定し、最初はブエブロ号と乗組員の即時解放を強く要求してい

た。しかし、その後、板門店を開催された両国の秘密会談以後、双方の態度は歴然と変化している。

事件直後、日本海に集結した第七艦隊も、次第に姿を消して行き、最近の情報ではエンターブレイズはふたたびベトナム海域で北作戦に参加している。

一時は第一のベトナムかと思われた朝鮮半島であつたが、すくなくとも現在のところ、不気味な平靜

が保つてゐるといつてよい。われわれは、まだ第一に、情報収集艦を使命とした艦艇が常時、航行

しているという事実に注目する必要がある。

こうで、火花を散らして戦われている。それは、もともと国家的な行為なのである。

ブエブロ号はなぜ、元山に深く接

世界共産党協議会に不参加ながら

わ、国民生活や産業経済の成長は、南朝鮮に比べてかなり立ちお

ベトナム戦とアジアの諸国

南朝鮮は、かつて日本が朝鮮戦争の特徴をさしきかけに資本主義経済を立ち直らせたように、現在進行中のベトナム戦争をさしきけにして、いちじるしい経済成長を示している。

もっとも、ベトナム戦争甘い汁を吸つてゐるのは南朝鮮だけではなく、台湾もフィリピンも、タイ

インドネシアなどの東南アジア諸國もみな同じである。日本がそのなかに入つてきとばかりまではない。

つまり、アメリカはベトナム戦争の犠牲によつて、着々と東アジア

朝鮮は第一のベトナム?

ブエブロ事件に先立つて、もう一つ朝鮮半島をゆるがした事件があつた。それは北朝鮮工作員による

朴大統領官邸襲撃事件である。この事件は、まさに南ベトナムにおける民族解放戦線側のゲリラ攻

撃を思ひせるものとして、また、第一、第二のベトナムを、といふ有名なゲバラの呼びかけに北朝鮮

が呼んじたものとして、われわれは、この情報によつて、北朝鮮に対する逃亡作の基盤もまた元山にある、といふ情報を流すことに加わえて、米軍のベトナム

埠頭兵に対する逃亡作の基盤もまた元山にある、といふ情報を流すことに加わえて、米軍のベトナム

何が欠けているか

われわれが一つの運動組織を形成していく過程において、どこで、端

的に個人活動の単なる集積が全組織活動の内容に等しい時期があ

る。個人機能の集合によるアライアンス

と、その生き方はベトナム戦争の拡大に印度ネシアなどの東南アジア諸

國もみな同じである。日本がそのなかに入つてきとばかりまではない。

つまり、アメリカはベトナム戦争の犠牲によつて、着々と東アジア

の特性を無視した組織方法そのものによって、中央集権制が官僚制の特徴をさしきかけに資本主義経済を立ち直らせたように、現在進行中のベトナム戦争をさしきけにして、いちじるしい経済成長を示している。

もちろん、ベトナム戦争で甘い汁を吸つてゐるのは南朝鮮だけではない。台湾もフィリピンも、タイ

インドネシアなどの東南アジア諸

國もみな同じである。日本がその

なかに入つてきとばかりまではない。

つまり、アメリカはベトナム戦争の犠牲によつて、着々と東アジア

の特性を無視した組織方法そのものによって、中央集権制が官僚制

の特徴をさしきかけに資本主義経済を立ち直らせたように、現在進行中のベトナム戦争をさしきけにして、いちじるしい経済成長を示している。

もちろん、ベトナム戦争で甘い汁を吸つてゐるのは南朝鮮だけではない。台湾もフィリピンも、タイ

インドネシアなどの東南アジア諸

國もみな同じである。日本がその

なかに入つてきとばかりまではない。

つまり、アメリカはベトナム戦争の犠牲によつて、着々と東アジア

の特性を無視した組織方法そのものによって、中央集権制が官僚制

の特徴をさしきかけに資本主義経済を立ち直らせたように、現在進行中のベトナム戦争をさしきけにして、いちじるしい経済成長を示している。

もちろん、ベトナム戦争で甘い汁を吸つてゐるのは南朝鮮だけではない。台湾もフィリピンも、タイ

インドネシアなどの東南アジア諸

國もみな同じである。日本がその

なかに入つてきとばかりまではない。

つまり、アメリカはベトナム戦争の犠牲によつて、着々と東アジア

の特性を無視した組織方法そのものによって、中央集権制が官僚制

の特徴をさしさかけに資本主義経済を立ち直らせたように、現在進行中のベトナム戦争をさしさけにして、いちじるしい経済成長を示している。

ソ連の最高戦略説

ソ連はソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

ソ連の最高戦略説

ソ連はソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

ソ連対北鮮の関係

ソ連はソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

ソ連の最高戦略説

ソ連はソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

として、ソ連の軍事援助で本主導

だから、そういうマイナスを計算した上でなら、人民の側の暴力も容認するというのが、私の立場である。

るだろう。権力にとって問題なのは人民が暴力革命をやるかやらぬかでなく、権力体制が土台から崩れるか否かだと思う。非暴力が権力者にとって、暴力より危険となるならば、それを未然に抹殺しようとすることは当然だ。

鐵砲を身につける。
それを殲滅しないかぎり、身の安
全がないとすれば、遠巻きにして
追いつめ、一匹一匹あるいはまよ
めて殺さねばならぬだらう。
野獸に対して、わたしたちが本来
とつてゐる立場は、どんなときも
すべてそのようなものである。

「非暴力直接行動」は、このとを切り捨ててしまつてゐる従前の考察に対し、むしろ人民の側からする「自己批判」をもふくめで新しい「テーゼ」として、出されいることに気が付かねばなるまい。
(注)ナチスについてはそれを歴史的、巨視的にみるだけでな

行した。ひとりといえどもあえ
彼らに報復の暴力をふるわなか
た。ひそかにそれを思つことも
なかつた。：総統の名による彼
原則的命令は神聖であつた。そ
については熟慮もなく、解釈も
く説明もなかつた。総統の命
ることは、常に正当であつた

の機関銃や自動拳銃によるユダ
人掃射に関するアイヒマンの叙
事を考へると、これこそ、わたし
最も不安にさせた。ぞつとする
うな光景がそのさうに見られた
のことだ。すなわち、撃たれ傷
いた者たちの逃走、負傷者とく
婦女子の殺害である。配置され

ひとなくしい、生きてゐなく」という際だつて特徴的な—20世紀の
ところの時代に生れてくる。「うじとと稱えあわゆる、その
は生ず生ずわたしたちを非暴力行動へとみぢみぢのである。

い
後半
い
こと
力直
手を叩く市民主義的オプティズムは禁物である。
いのよるな混沌とした状況で、ただ時だけが確実に経過何ら問題が解決されないままズルとわれわれを七〇年安保い淵に引きずり寄せるのであるわれわれを取り巻くこのよう

「抵抗」の形態としてのもの
つた。これを縦の直接行動と
れば横の直接行動、すなわち
との「連帶」という直接行動
今日的ナロードニキ運動が持
ばならない側面である。クロ
キンの「相互扶助」論を持ち
までもなく、現代の革命運動
の深
ズル
し、
の中
現な

現在の言葉でいふと、大衆が、
なかで混濁し、搾取、被搾取
係は瞬時にされてきている。
に肝心の解放するべき階級自
身の生活水準の向上と小市民
の中に埋没して政治的ア...
を決め込んでくる状況があ
る

ナチスの場合

非暴力直接行動への反問と問題点

(三章からつづく)

していけるのではなくて、国家に対する人民の共同体としてとらえることはつきりするのですよ。人民の共同体というと、現実に存在する反体制的な組織がそのままそつくり入るのではありませんけれど。上仲「反体制組織のなかにも『國家関係』が浸入しているからです」とか。アウシュヴォイツをふせぎました。

②19世紀にくらべて非常に強化された権力構造と対決するには、たとえばガンジーの時代とは大分事情がちがうので、一工夫いるのではないか。

③暴力の側にまだ人間的な痛みを持つている段階ではいえることで凶暴な機械的力のもとではあてはまらない。

④権力の現象形態として、むきだしの暴力、経済力、イデオロギー力の二つがあるという私の権力論に従っていえば、非暴力の方がイデオロギーとして訴える力が強いと考える。暴力に対して非暴力で対抗するということは、こちらがイデオロギー力としてはすぐれていることを示すものにほかなりない。暴力を行使するとそれが安いになってしまつ。

だから、そういうマイナスを計算した上でなら、人民の側の暴力も容認するというのが、私の立場である。

それから暴力の行使についての状況も区別して考えるべきではない

組織は人民の自治共同体でしょ
う。
上仲 既成の反体制組織を自治共同体につくりかえてゆく、それから新しく増殖してゆく。
大峰 ええ、『國家』のなかにとりこまれている、ほんらい人民のものであつた組織をこちら側にとりもどすこと、それからこちら側をひろげてゆくこと、国家のつくつた擬似人民組織をほんものにつけりかえてゆく。そういう作業のなかで暴力を消去してゆく、発動できないようにしてゆく。
上仲 にんげんの暴力本能や、個人的暴力の問題もそういうたたかいの中でしか解決できないね。

大峰 だから暴力には暴力を、非暴力には非暴力でという公式ではなくて、そういう反射的対応ではなくて、もつとひろい展望の中では、ほくたちの側が積極的な攻略計画をたてる、こちらの方に主導権をうばいとつて、味方の勢力をどのようにうまく配置してゆくか。敵のどこをどのように攻撃しなければならないか。そういう基本的な戦略、それを生産できるような理論。これがないと反射的対応に終始してしまう。そういう理論の貧困を行動の様式でカバーすることはできない。

暴力はいわば非暴力を意識した暴力でしょう。いつでも非暴力につみこまれた形の、その中での暴力、非暴力に制御された暴力についていいと思います。

山下 集団暴力と個人暴力、あるいは国家暴力と人民暴力、またその反対のおののの非暴力と似非暴力、それらはおののの質的にちがっているんだから混同しないように注意しないと、これから討論が混乱するよ、暴力・非暴力どちらでもいい。おのれの目的達成に有効ならといった無原則を考え方は、大へんリアルな中道を歩む考え方にはえながら実はなものもうみださない。大峰君のい

う反射的対応しかでてこないか、敵の暴力機構の根底をほりくずすことはできない。左右の口和見主義に両極分解してしまつ。

大峰 大切なことは、ぼくたち自身が国家権力に対し、どのような有効なたたかいを組みうるか、ということであつて、暴力・非暴力というものはそういうたたかいの結果として出てくるものではないでしょうか。まずははじめに、行動論として、暴力とか非暴力とかがつて、そのどちらかに賭けるというのではないと思います。その結果としての非暴力から、その結果をもたらした一連の戦略展開を浮

だと思ひます。「非暴力」と「自決」の二つは、どちらも前提があって、直接行動と直接論議の二つがある。つまり、一つのもの（非暴力直接動論）として、それを【分かがたい】（主客転倒したことを命論としては主客転倒したことなる）として、【主客転倒】（主客転倒したこと）を規定してあります。

條化してしまつと複雑な現実の開についていけなくなる。
上仲 「非暴力直接行動論」ト』の「はじめに」一頁半分を討しただけで、だいぶ時間をつてしまつたが、きょうはこわらいでおわりにしたい。ふりかつてみるとすこし抽象論議につたかもしぬないが、ほんたもれぞれの考え方をはつきり自認した効果はあつたようです。章からはかなり具体的な問題が開かれているようですが、ほたちの運動に直接役立つようつた論になるように希望、いやおかいに努力しましょう。 (終)

の展 検を ふくねぐかえはしそうが 次展が討はる確にそくはしきらが

現代の直 ブ・ナ

約五年前の自由連合紙上で大道・山口英を中心に「古典的觀からの解放」をめぐって盛論争されたことがあった。そ論じられていた「上層プロレタ」の問題は別にして、このことは、われわれがいつも今日的での革命の契機は何であるかを探し、確認する事の必要性を

接行動として ロード”を

いは反体制運動の精神に欠けるのはこの意識ではないか。「直接行動」が人民の唯一のであるならば、権力に対する運動と共に、それは大衆の網の目のような連帯に支えなければならない。連帯と抵抗の両輪のように機能した時じめて有効なる人民の解放のとしての「直接行動」となるあり、そのような直接行動が命を招来しえるのである。

現代の直接行動として “ヴァ・ナロード”を

尾閥

いは反体制運動の精神に欠けるのはこの意識ではないか。「直接行動」が人民の唯一のであるならば、権力に対する運動と共に、それは大衆の広範囲の日のような連帯に支えなければならない。連帯と抵抗

